

熊本大学医学部附属病院

研修医 前田 和也 2015年5月

熊本大学医学部初期臨床研修2年次の前田和也と申します。

2015年5月の1か月間、地域医療研修を出水総合医療センターでさせていただきました。とても印象深い研修となった1か月間でした。

私は出身が出水市高尾野町であり、下水流小学校、高尾野中学校、出水中央高校と、高校までは地元の学校に通っていました。

今回、地域医療の研修先を選ぶにあたって、地元の医療はどうなっているのか実際に体験してみたい、という思いで出水総合医療センターを選択させていただきました。研修は出水総合医療センターの他、野田診療所、高尾野診療所、上場診療所、出水保健センター、特別養護老人ホーム鶴寿会たかおので行わせていただきました。

研修内容ですが、野田診療所では外来陪席や往診、また、エコー等の検査を行いました。今までエコーのレクチャーをしっかりと受けたことはなく、なかなか思うように画像を出せなかったのですが、内村先生にしっかりと指導していただき大変勉強になりました。高尾野診療所では実際に外来診療を行いました。慢性疾患を診るという経験が今までなく、戸惑う場面もありましたが、注意すべきポイント等指導していただきなんとかこなすことができました。出水総合医療センターでは消化器内科で研修させていただきました。主に消化器センターで研修させていただき、腹部エコー、内視鏡検査の指導をしていただきました。指導医の先生方がやっているのを見ているとそんなに難しそうに見えないのですが、実際に自分でやってみると全く思ったようにならず、経験不足、技術不足を実感しました。特にエコーは将来どの科に行くにしろ必要な手技であり、技術の向上に努めたいと思います。外来では、知識としては知っていても実際に診たことのない疾患をいくつかみることができとても勉強になりました。

また、医療センターでは医療安全管理室、地域医療連携室、リハビリテーション科、臨床検査科でも研修をさせていただきました。今までそういう部署があることは知っていても、どのような内容の仕事をしているのかよく理解していませんでしたが、今回話を伺い、また実際に様々な体験をさせていただき、医療が様々な職種の連携によって成り立っていることを実感できました。

1か月という短い期間でしたが、今までの研修ではできなかった経験がたくさんあり、とても勉強になりました。今回学んだことを今後に生かし、医師として成長し、将来は出水の医療に貢献したいと思っています。研修担当の宗清先生、消化器内科の先生方をはじめ、多くの人に大変お世話になりました。ありがとうございました。